

施策番号	1603		
施策名	高齢者を支えるネットワークの推進		
概要	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するために、地域による見守りのネットワークを推進するとともに、生活上の安心・安全と健康の確保に向けたサービスを提供する地域包括ケアシステムの構築を図る。		
担当局・部室	保健福祉局・健康長寿のまち・京都推進室	共管局・部室	
上位政策	16 高齢者福祉		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	老人福祉員訪問者数（人）	a	b	34,606	32,997	34,780	94.9%	e	1.00
2	地域包括支援センター相談件数（件）	a	b	281,004	287,021	295,054	97.3%	b	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		a	b					d	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度						令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	
1	高齢者が地域で見守られ支えられて、安心してらせるまちになっている。	c	c	31 4.7%	158 23.9%	275 41.5%	139 21.0%	59 8.9%	662 -
2	-	-	-						-
3	-	-	-						-
4	-	-	-						-
5	-	-	-						-
市民生活実感調査総合評価		c	c						

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	B	令和元	B	令和2	D	施策の目的があまり達成されていない
重み付け	☒ 客観指標	この施策は、対象となる市民が一人暮らしの高齢者等に限定されているため、効果が市民の生活実感に反映されにくいことから、客観指標総合評価を重視する。				
	☐ 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。

☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問活動に代わり電話での安否確認等が行われたことなどから、老人福祉員の訪問者数が減少し、c評価以下となったと考えられる。

市民生活実感調査総合評価

☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。

☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

- ・地域包括支援センター相談件数は増加しているが、こうした高齢者を地域で見守る取組に対する認知や理解が当事者である高齢者層以外には十分に広がっていないことから、約4割の方がどちらとも言えないと回答していると考えられ、c評価で推移している。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1	単身高齢者万一あんしんサービス	4,842	6,242	普通	保健福祉局
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・高齢者が自ら望む地域で安心して生活できるよう、高齢化率の上昇や単身世帯の増加といった状況を踏まえたうえで、老人福祉員活動の推進、地域包括支援センターの機能充実、これらの活動の周知に取り組むとともに、高齢者を支える地域の関係機関等のネットワーク構築を図る。
- ・ウィズコロナ社会における老人福祉員活動の在り方について、必要な活動支援を検討する。

施策名	1603	高齢者を支えるネットワークの推進				
指標名	老人福祉員訪問者数（人）					
担当課	健康長寿企画課	連絡先	7 4 6－7 7 1 3			
1 指標の説明						
老人福祉員が訪問している一人暮らし高齢者数						
2 指標の意味						
高齢者を支えるネットワークの構築がどれだけ進んでいるかを示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	34,606	32,997	1,609人減	34,780	過去5年間の最高値（平成29年度）	94.9%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-			-		
5 評価基準						
最新の数値を過去5年間の数値と比較して、 a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満						
6 基準説明						
過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：34,780人（平成29年度） 平均値：34,498人 最低値：33,762人（平成26年度）						
7 評価結果						
平成30 令和元 令和2						
a b e						

指標名	地域包括支援センター相談件数（件）					
担当課	健康長寿企画課	連絡先	7 4 6－7 7 3 4			
1 指標の説明						
地域包括支援センターへの年間相談延べ件数						
2 指標の意味						
地域全体で高齢者を支えるネットワークの構築状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値		
				数値	根拠 達成度	
数値	281,004	287,021	6,017件増	295,054	前年度実績の5%増の数値 97.3%	
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-			-		
5 評価基準						
単年度目標に対する達成率が a：100%以上 b：90%以上100%未満 c：80%以上90%未満 d：70%以上80%未満 e：70%未満						
6 基準説明						
積極的な対象者の発見を重視し、目標値の100%以上をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
平成30 令和元 令和2						
a b b						